

亘理町防災会議 地震・津波対策専門部会（第3回） 会議録

○開催日時 平成25年 7月24日（水）14：00～15：20

○開催場所 悠里館 視聴覚ホール

○検討項目

- (1) 6/9 アンケート調査結果報告
- (2) 津波避難計画 避難困難地区の抽出と対策案の検討
- (3) 地域防災計画 見直しの概要
- (4) 今後の予定
- (5) その他

○配付資料

- 資料 - 1 アンケート調査結果報告
- 資料 - 2 亘理町アンケート調査（H25.6.9 防災訓練時実施）集計結果
- 資料 - 3 津波避難計画 津波避難地区の抽出と対策案の検討
- 資料 - 4 亘理町地域防災計画の見直しの概要
- 資料 - 5 今後の予定

1 開 会

2 あいさつ 部会長あいさつ

3 検討項目

(1)6/9 アンケート調査結果報告

資料-1、資料-2について事務局より説明

【委員】

資料1の5ページの避難時間の比較について、東日本大震災時に仮設住宅が2.9%になっているが震災のときには仮設住宅はないはずだと思う。

【事務局】

今住んでいる場所で回答してもらっていたので、このような結果になってしまった。

【委員】

資料1の4ページで防災訓練のときに2時間以上かかった方が1.5%いたが、どういう方が

時間がかかってしまったのか分かれば教えてほしい。

【事務局】

集計したものなのではっきりは言えないが、内陸部では徒歩での避難訓練を実施したためこの様な結果が出たのではないかと思います。

【委員】

吉田地区が避難に 30 分以上かかった理由はなにか。

【事務局】

吉田西部地区において徒歩での参加があったため数値が上がっているのではないかと思います。

【委員】

東日本大震災時、津波警報発令時、防災訓練時の渋滞箇所・問題箇所一覧を見ると、亘理町の北と真ん中と、南の大きく 3 つの場所で問題があると分かる。ひとつは逢隈で、資料 1 の 7 ページの渋滞に巻き込まれた方の割合が一番大きいので問題である。ふたつ目は亘理地区で、資料 1 の 5 ページの避難の時間が 30 分以上かかった割合が一番大きいエリアです。なぜ時間がかかっているかという、真ん中の農免悠里道路と塩釜亘理線が渋滞するから時間がかかっている。3 つ目は吉田地区で、避難場所まで距離があるのと、6 号線の手前で短い信号があり問題である。大きくこの 3 つが対策をしなければならぬ箇所だと分かる。

(2)津波避難計画 避難困難地区の抽出と対策案の検討

資料 3 について、事務局より説明

【委員】

資料 3 の 6 ページの自動車保有台数と亘理町人口で震災前の平成 22 年の資料を使ったのはどのような理由からですか。

【事務局】

震災後の資料がないためです。

【委員】

高齢化が進んでいるため、車で避難できない人の対策を早急に検討を進めるべきだと思います。

【事務局】

その様に考えております。資料については現時点のもので、荒浜地区は鳥の海温泉の再開、災害公営住宅のマンション形式のものが建設されます。吉田地区は既存の住宅地を集約して避難丘の整備を進めていきたいと考えておりますし、浜吉田駅西側に災害公営住宅も建設されます。今後は、このような施設も含めて図面を作成し、避難計画を進めていきたいと考えております。

【委員】

どのような場所が避難困難なのか、そして、どのような対策が必要なのかを論理的に分析していると思います。避難施設と道路整備には時間がかかるのが問題です。シミュレーションなので実際とのかい離はあります。今回の結果を踏まえて、各地域の方とコミュニケーションを図りながら検討会などをされていくと良いと思います。

【委員】

資料3の4ページで避難路の整備について、国道とかジャンクションとかを含めて検討しないと渋滞は解消されないと思います。

【事務局】

国道での渋滞緩和策として、一番簡単なのは立体交差だと思いますが、そのためには莫大な経費がかかってしまいます。今後、混雑を解消する方法を専門の方のご意見をお聞きしたいと考えております。

(3)地域防災計画 見直しの概要

資料4について事務局より説明

(4)今後の予定

資料5について事務局より説明

(5)その他

【委員】

阿武隈川の増水や氾濫等も災害として頭に入れておいていただきたい。

【事務局】

国で堤防の拡幅工事を計画しております。